

# あべともこニュース

## 2023通常国会開会に向けて

◆どうする異次元の少子化対策！

新年早々岸田総理が発表した「異次元の少子化対策」に対しては、まず基本的な子育て支援策を求めます。

そもそもこの30年余の非正規雇用の増加は少子化に拍車をかけ、また子育てにお金がかかる、子どもを持って働き続けることが大変なだけでなく、子育ての孤立感もあります。それに加えてこれからの時代、子ども達が幸せになれるだろうかという不安も…

雇用の安定、子ども手当などの充実は無償も、出産後の母子の心身を支える産後ケアや保育など制度の充実も待ったなし。そして、どのような家庭に生まれても、医療や教育がしっかりと受けられるよう、

よる化も無償も、出産後の母子の心身を支える産後ケアや保育など制度の充実も待ったなし。そして、どのような家庭に生まれても、医療や教育がしっかりと受けられるよう、



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）  
 当選 8 回、東京大学医学部卒業、  
 小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長  
 現在、厚生労働委員会  
 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ  
 公式Twitter  
 @abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ事務所  
 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！



出典：「軽症が多いはずのオミクロン株で、新型コロナウイルス死亡者数が過去最多 理由は？」Yahoo!,2023,1,7

◆値上げ続く公共料金・上がらない賃金  
 ロシアによるウクライナ侵攻から来月で1年。それまでロシアの天然ガス等に頼ってきた欧州エネルギー市場は混乱を極め、我が国でも様々な「高騰」へと繋がってしまいました。

日銀「生活意識に関するアンケート調査（昨年12月分）」によれば、暮らし向きについて「ゆとりがなくなってきた」と答えた人は、53%と5期連続悪化という結果に。東京都の消費者物価指数も昨年末伸び率を更新。都市ガス代は36.9%、電気代26%に伸び、生活必需品である公共料金が暮らしを逼迫しています。

政府は、電気代負担軽減策を今月から実施し、電力会社に補助金を支給することで、消費者負担額を2割程度下げるといいますが、一方電力会社からは、値上げ申請の動きも。

昨年11月の実質賃金は前年同月比3.8%減と8年半ぶりの落ち込み。生活を守る対策が急務です。

◆諦めず医療の保障を  
 コロナ感染症第8波の到来によって、累積患者数三千万人を超え、死者数も六万人以上に。

そのうち四万人はこの一年間の第6波から第8波であり、さらにこの一ヶ月で一万人と激増しています。

高齢者施設などのクラスターが多数、コロナ感染で元々のご病気が悪化し、亡くなる方も多しと。

本来早期に医療施設へと転院できれば助かる命も少なくないはず。医療施設が満床で、また高齢者だから仕方ないと諦められてしまうのは、あまりにも命の軽視であり、死後自宅で発見される方も多数です。

脱水予防の点滴、酸素投与、治療薬、抗生薬など、重症になるのを防ぐ初期治療が受けられる体制は三年経っても未構築、早期発見、早期診断、早期治療を怠った日本のコロナ対策の結果です。